

本書は SUPER SEALコネクタ44極におけるハーネス組立作業に当たっての注意事項を示すものである。

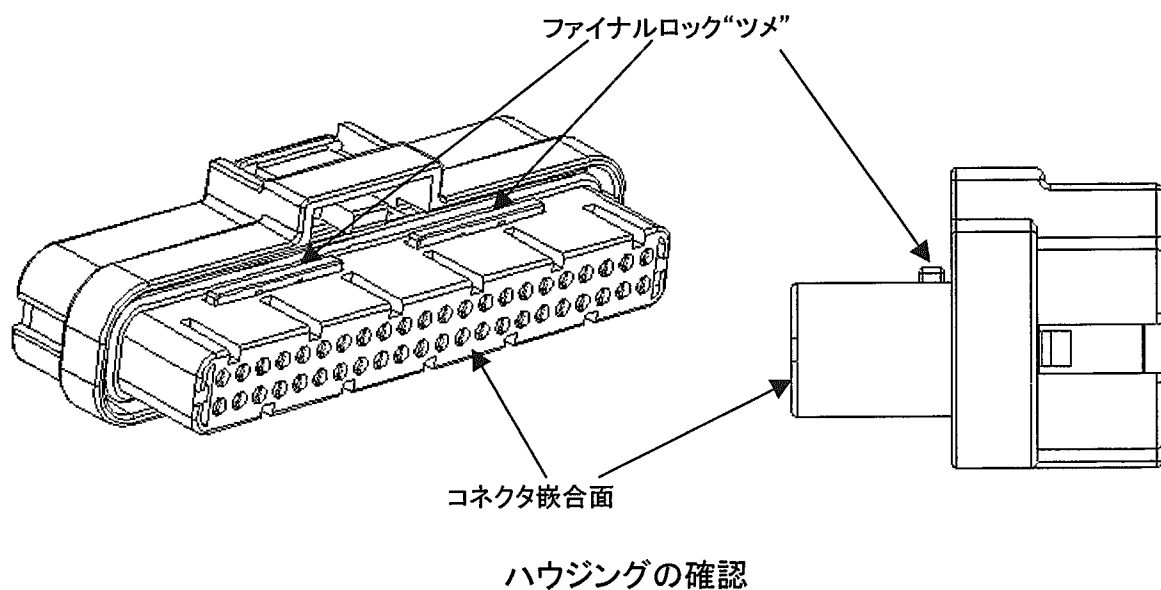
1. 適用製品名称／型番	型番	旧型番
・ リセプタクルコンタクトASS'Y	／ 3-1447221-3	3900187-01
	3-1447221-4	3900187-02
・ プラグハウジングASS'Y	／ 2-1447232-6	3900281-441
	1376886-1	3900281-442
・ 埋栓	／ 4-1437284-3	3400130

2. コントクトの圧着

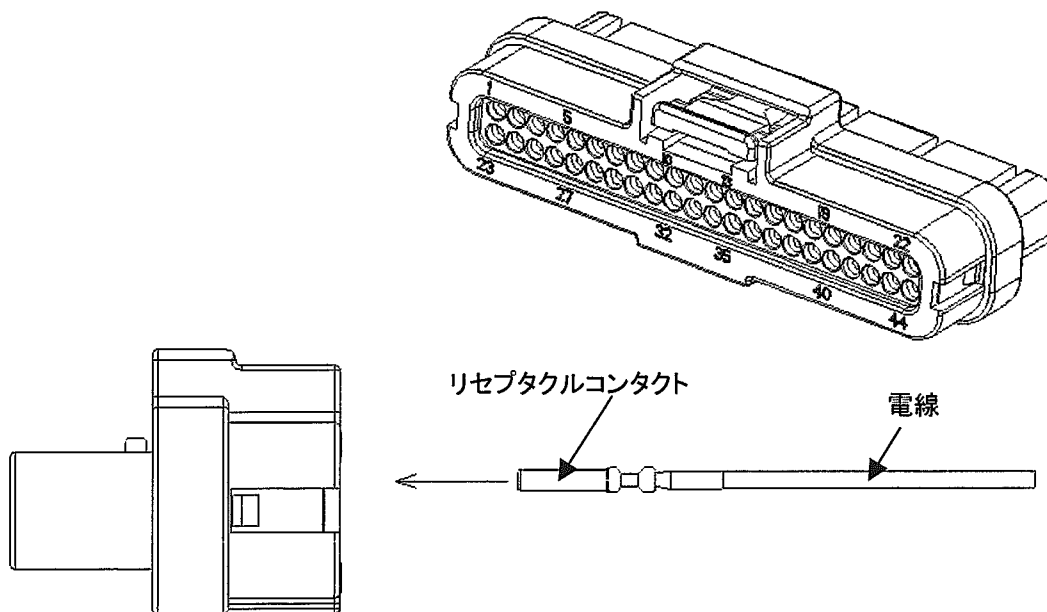
- コントクトの圧着作業は圧着規格 114-78011 (旧PS-1191)、114-78011-1 (旧PS-1191-1) に基づき、実施すること。

3. コントクトの装着

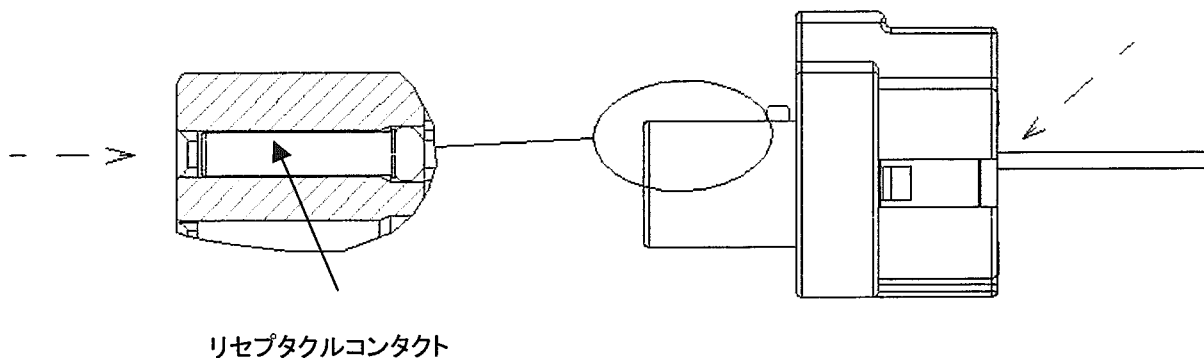
- コントクトはハウジングへ装着するまでの間に、変形を起こさぬよう、無理な外力を与えないこと。(万一、曲がり等変形が生じてしまった場合は使用せず、新規コンタクトを圧着し直す。)
- ハウジングの2箇所<sup>①</sup>のファイナルロック“ツメ”がとび出していることを確認する。



- コネクタは図のように圧着部付近を支持し、ハウジングに対してできるだけ垂直に挿入すること。(中途半端な挿入はせず、コネクタがつきあたるまで力を加える。)



- コネクタが正規位置にあるかを目視にてコネクタ嵌合面（斜め方向）及びコネクタ挿入面から確認すること。
- コネクタを誤ったポジションに装着した場合、5項に従い脱却を行ない装着し直す。  
管して下さい。

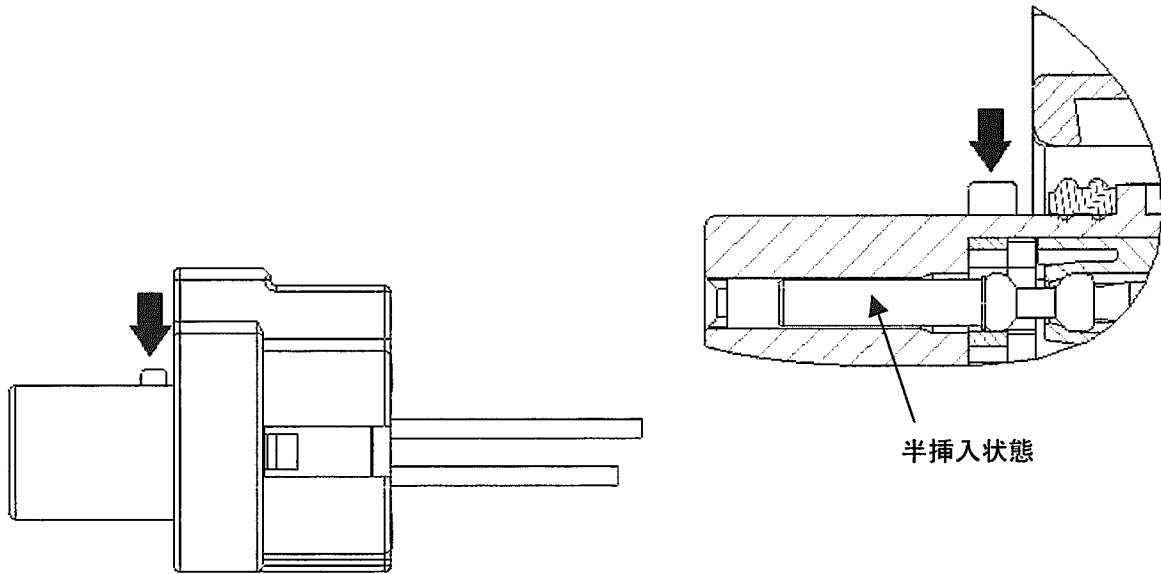


### 装着の確認

- コネクタの挿入が完了したら入れ忘れたポジションがないか確認する。(埋栓の入れ忘れに注意する。)

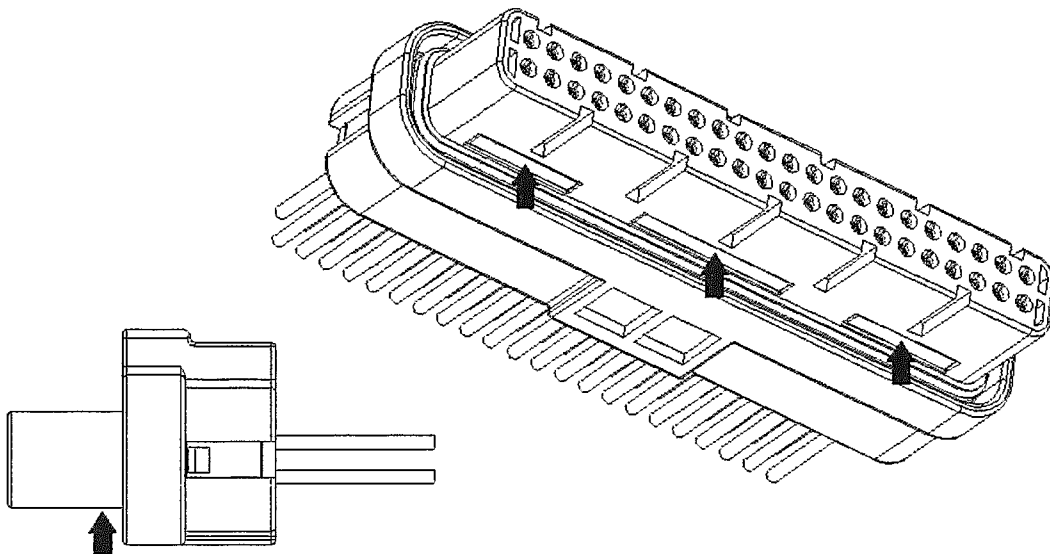
#### 4. コネクタの最終係止

- コネクタの装着がすべて完了したら、ファイナルロック “ツメ” を指で2箇所同時に押し込みロックする。（ラッチ感を確認）途中でつかえた場合は、コネクタの半挿入を検知しているので無理な力を加えず再度コネクタが正規位置にあるか



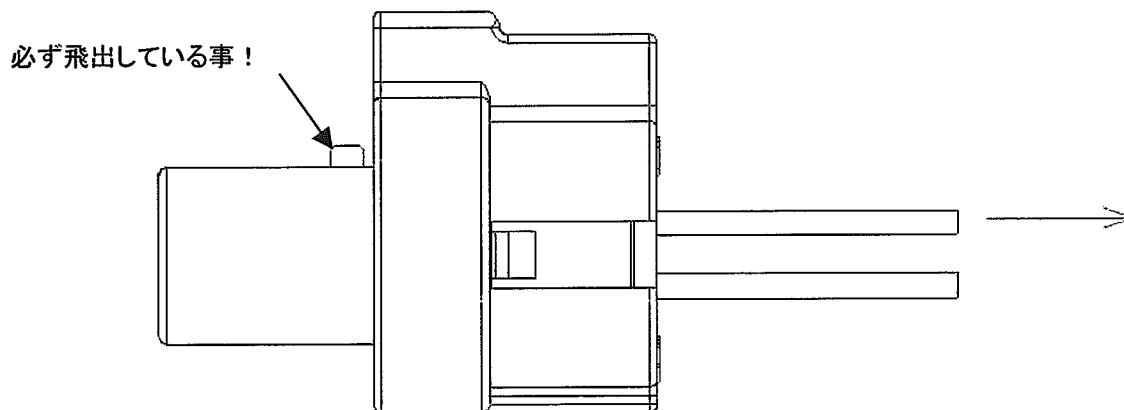
#### 5. コネクタの脱却

- すでにファイナルロックを押し込んでいる場合は、ハウジングのファイナルロックの解除側（1箇所）を指の爪あるいは小型のマイナスドライバー等の工具により押し上げる。（ラッチ感を確認、ファイナルロックの解除は10回を限度とする。）



ロックの解除

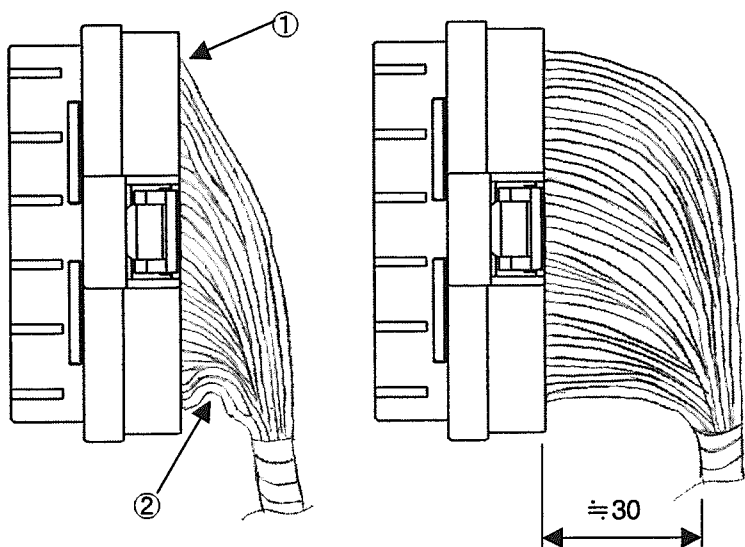
- ファイナルロック “ツメ” が2箇所共とび出していることを確認し脱却したいコンタクトに圧着された電線をハウジングに対してできるだけ垂直に引き抜く。  
(一つのポジションに対する脱却は3回を限度とする。)



### コンタクトの脱却

#### 6. その他

- 電線結束（テーピング等）は任意の一本に引張力が加わらぬようにすること。
- また、電線を90°程度曲げる場合は曲げ位置はコネクタより30mm程度離れた位置で行ない、  
①曲げの外側の電線が引張り力を受けぬよう、また②内側の電線がコネクタ側へ荷重が加わり変形するのを防ぐよう曲げ形状、結束位置等考慮する。



### 電線の曲げ

- ハウジングは分解しないこと。